



母ちゃんの会 発足エピソード

私が「いのち新聞」、そして笹原さんと出会うことが出来たのは、すべて息子が導いてくれたのかと今は思うのです。

ついこの間、息子の1周忌を終えました。私の息子は、突然の脳疾患で誰にも看取られずに空に旅立ってしまいました。

日中は仕事を持っていたので気が紛れていましたが、帰宅途中の車内が唯一、大声で泣くことができる私の場所でした。家では残された夫、娘、義父母がいる。私ばかりが泣いている姿を見せるわけにはいかなかったのです。

誰にも会いたくない、話しても分かってくれるはずもない、「大丈夫？」と言われても何が大丈夫なの？心の中で反発している自分がいる。

痛かっただろうね。ごめんね、おととい近くまで行ったのに寄らないで。もしかしたら、調子悪かったかもしれないね。病院へ連れて行けたかもしれないのにね。「ごめんね、ごめんね。」自分を責める事しかできなかった母。車の中で涙を流して駐車場に着くとまた仮面をつけ、何も無いふりをする私。私の心の内をどこにぶつけたらいいのかわからない。私と同じような境遇の人の集まりはあるのか。もんもんとした日々が続いていました。



そんな時、「いのち新聞」を知る機会が与えられ、笹原さんやスタッフの方々との出会いで、私の心の声を聞いてもらえる場所がやっとできました。「いのち新聞」に辿り着くまでに、息子と関わりのあった方々と結びつ

いて、最後は笹原さんに辿り着いたのです。ありがとう！！あなたの今までの繋がりが、母を救ってくれたんだと。

私と同じように、年齢に関わらず子供を失ってしまった方はたくさんおられると聞き、自分の心を素直にさらけ出せる場所、そんな居場所を作ってみないか？と声をかけていただき、「母ちゃんの会」を立ち上げることになりました。

母ちゃんの会——。子供が急にお空に帰った経験のある母の会。心がつらくなったらいつでも足を運んでもらい、心を少しでも軽くして帰っていただける、そんな場所になったらと思います。一人でもんもんと過ごす時間から、素の自分の心を大切に、亡くなってしまった子供のことを話しながら、お茶でも飲みませんか？亡き子供たちは、きっといつものお母さんが大好きだと思えます。一緒に、一歩前に進みませんか？母ちゃんの会は、そんなあなたを待っています。



(母ちゃんの会)

(この記事は1周忌の時のものです)

「いのち新聞」へのお手紙や活動資金のご寄付ありがとうございます。

お問い合わせ先

〒024-0024 岩手県北上市中野町2丁目28-23
株式会社 桜内 「いのち」新聞編集部
☆お電話での問い合わせはご遠慮ください。ハガキ又はお手紙で受け付けています。

49日まで、家にいる!?

大切な家族がどのように「死」を迎えたのかというのは、遺された家族が抱く大切な共通点であると言えます。しかしながら大切な家族を亡くした人々は様々なことを感じ、経験しています。これから紹介するのは、多くの被災者、そして遺族から、いのち新聞に語られた体験談です。

「家の中に、いる！」と語られる内容は、亡くなったはずの自分の子の足音が、家の中です。親だからわかる我が子の足音。遺族と呼ばれる立場になった人たちが教えてくれるのは、どうやら49日まで、家の中で普段通りに過ごしているようだと、話します。

最初はみんな足音や物音に戸惑うものの、本人の好きだった食べ物を手作りで作って過ごしている人もいます。そうすると足音が静かになるそうです。49日までは、物が勝手に落ちて来たり、物が勝手に移動したり、足音がしたり、というのは頻りに続くと多くの人々が語ります。49日経ったときに夢枕に立って、現実の生活の中で起こる様々な出来事が、家族の悲しみを支え、お互いに思う時間は続いているものだと教えてもらうことがある体験談でした。

他にも、「朝だよ、起きなさい」と亡き母の声で起こされた。おかげで遅刻せずに済みました。と体験を語る息子さんがいました。

おばあちゃんのお墓参りに行ったとき、「ありがとう」とおばあちゃんの声が聞こえて、涙が出てきた。と語る高校生の女の子。

父の大好きだったビールが飲める歳になったよと遺影に話しかけたとき、冷蔵庫の中で物音がして見ると、冷蔵庫の中で缶ビールが倒れていた。父が報告よりも供えてくれと言っている気がして、クスクスと笑いながら供えました。震災を経験し、あれから8年が経ち成人した子が話してくれました。

他、様々な体験談が寄せられています。

(笹原 留似子)

みんなの知恵袋3～災害の経験から～

いのち新聞では、震災時欲しかったもの、あって良かったものなどを話し合う時間が度々あります。シリーズでご紹介しています。

物流が止まったとき <食品>

- 簡易ガスコンロ (替えのガス)
- 鍋 ○オタマ ○しょうゆ
- 乾めん ○塩 ○みそ
- 果物ナイフ ○割り箸
- 賞味期限の長い食品
- レトルトごはん
- (フタ付き)の容器



ご支援・ご寄付のご案内

北上信用金庫 東支店 口座番号 0103488
預金種類 普通預金 口座名称 いのち新聞 代表 笹原 留似子

ご支援いただけるスポンサーの皆さまには、活動報告を別資料として報告致しております。ハガキや封書にて住所・氏名・電話番号・メッセージなどをご記入いただき、いのち新聞編集部宛に郵送ください。